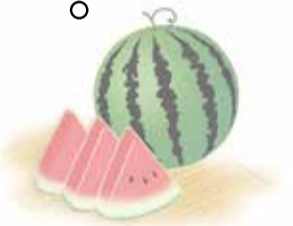


檀信徒・霊園使用者各位に発行しています。

皆様

如何お過ごし

でしょうか。



本年は正月明けからいつもと違うスタートになってしまいましたね。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、日本のみならず世界中で様々な取り組みがされています。当山宝泉寺も少なからず影響を受けています。マスク、消毒、三密を避けることは当たり前。お寺にも各種対策を施しています。緊急事態宣言は解除され、移動の制限もなくなりましたが、皆様、もう少し、今少し、我慢しましょう。自分だけでなく、他の人の健康も考える。来たるべき第二波にそなえ、感染症に気をつけることが重なる新たな日常になります。みなさま、もう少し。我慢我慢。

お盆の精霊棚の飾り付け一例です。ご参考にしてください。



- ① テーブルにマコモを敷く
 - ② 四方に笹を立て麻縄で結ぶ
 - ③ 位牌香炉燭台花等を飾る
 - ④ 茄子や胡瓜で馬と牛を作る
 - ⑤ 蓮葉に夏野菜の粗みじん切りと生米を乗せる「水の子(みずのこ)」
 - ⑥ 椀に清水を満たした「開加水(あかみず)」を供える
 - ⑦ 膳をつくり供える
- ⑦その他、そのめん、果物など夏の食物を供えください。お盆セットがスーパーなどで売っています。詳しくは住職までお気軽にお問い合わせください！

法話のコーナー

未知の感染症という「災害」を前に、今日までの間、大いに試されたのは、

社会や政治のあり方などではなく、我々自身だったよ。うな気がします。自粛する人しない人、転売、買いだめ、大行列。はたしてそこには、いつもは出来たはずの気遣いが充分にあったのか。今は多少の不自由さを堪えねばならない、そういう思いを新たにするためにも、私自身を含め、一度振り返って考えてみるべき時期なのかもしれません。

テレビのインタビュの中で、ノーベル賞を受賞された山中伸弥教授が、「こういう事態になると、私たちの生活が他の誰かに守られているということがよくわかる」とお話しされていました。全くその通りだと思えます。スーパーやコンビニ、薬局などが、一時品薄になったとき、みんな大いに慌てたものです。しかしそこから、店員さんや、流通を担う方々の頑張りのおかげで、今日もさほど変わらない豊かな毎日を送ることが出来ています。さらには医療に関わるお仕事の方々の尋常で無い程のお働きがありました。今回のコロナ禍のなかで、私たち生活が、こういった方々によって守られてきたのだと言うことを、改めて実感するわけです。感謝申し上げると共に、決してお店や病院でワガママな振る

舞いをしてはイカンなあと、強く誓う次第であります。

しかしここでよく考えてみます。各人のお働きは、実はコロナ以前から粛々と続いてきた事でありまして、それだけではない、日常目にする物は、全て誰かの手を経てきたのではないのか。実は私たちはこれまでもずっと、誰かにお世話になってきたのでないか。

たとえば、食事に関して考えてみれば、台所でその食事を作っている人がいて、食材を売っている人がいて、その材料を作る人がいて、原料を加工する人がいて、元をたどれば原料になる動物や植物の命があったはずなのです。それらの命を頂戴し、誰だか知らないけれども、たくさんの人たちの働きがあつて初めて、毎日の美味しい食事にありついていたのではないのでしょうか。今着ている服だってそうです。動物や植物の命を頂いて、それを加工する人が居て、服を作る人が居て、売るのが居るから、暑さ寒さをしのぎ、オシャレを楽しむことが出来ていたのです。

舞いをしてはイカンなあと、強く誓う次第であります。

もう一つ大事なことは、実は自分自身もまた、知らないうちに知らない誰かのお役に立っているということ。自営業、作業員、サラリーマン。家事だって立派な仕事です。そういう日々の自分のなすべき仕事、回り回って直接間接に誰かの生活を支え、この世の中を成り立たせていたのです。お互いが己の仕事に一所懸命に行っている、この場所を世間と

外出自粛の中でも、そうでない時も、実は私たちはいろいろな人に守られながら生きていたのです。全ての「あたりまえ」は知らない誰かの働きによって成り立っていた、と言う事実。人は決して一人きりで生き

舞いをしてはイカンなあと、強く誓う次第であります。

今後、これまでの常識は少しずつ変わっていくこと。しかし多少の生活様式が変わったとしても、命ある者同士のご縁のつながりは、今までも、これからも、変わらないもの。この変わらないものこそ、私たちの、大いなる「よすが」になるはず。どの人ともつながりがあると思えば、他者への気遣いも生まれてくるというものです。

令和二年 年忌表

令和元年(平成三十一年)に亡くなった人は	一周忌です
平成三十年に亡くなった人は	三回忌です
平成二十六年に亡くなった人は	七回忌です
平成二十年に亡くなった人は	十三回忌です
平成十六年に亡くなった人は	十七回忌です
平成十年に亡くなった人は	二十三回忌です
平成六年に亡くなった人は	二十七回忌です
昭和六十三年に亡くなった人は	三十三回忌です
昭和五十九年に亡くなった人は	三十七回忌です
昭和五十三年に亡くなった人は	四十三回忌です
昭和四十九年に亡くなった人は	四十七回忌です
昭和四十六年に亡くなった人は	五十回忌です

お位牌などをご確認ください 法事の予約はお早めに

えかい につき

今度のお盆会で勤続3年目、恵海です。2018年、私がこちらに来たての平成の頃には世の中がこんな事になるとは夢にも思っておりませんでした。私の両親も高齢ですので、緊急事態宣言の間自分のお寺に帰るのを控えておりました。修行時代を経て身の回りの事は一通り出来るつもりでおりましたが、やはり色んなところで家族に甘えていたと痛感する事しきりでございました。自粛の間も宝泉寺さんには本当にお世話になりました。洗濯機を使わせて頂いたり、夕ご飯をご馳走になったり・・・宣言が解除されてから身延に戻り、家族と日常を過ごせる事、食卓を囲める事の有難さを噛み締めました。

言うまでも無く様々な事が普段通りに出来なくなっており、ご法事も例外ではございません。私事ですが、3月は祖母の一周忌でした。本来であれば親戚一同集まって昔話に花を咲かせたい所ではありましたが、縮小して法要のみを行いました。どの様な形にするかとても悩みました。宝泉寺本堂のご法事に来られる方の中にも当日まで大変悩まれたという方がおられました。今まで誰も経験したことのない事態ですので、悩まれて当然だと思います。本当に大変な中、時間を作ってお参りにこられる皆様には頭が下

がります。行きたいけれども来れない方、お辛い事と思います。今まで通りには出来なくとも、今出来る範囲の精一杯。これが大事ではないかと思えます。心を込めてお祀りすれば仏様も「ちゃんとやりなさい」と怒ったりしない筈です。ご法事は亡くなった方の為に行うのは勿論ですが、今生きている皆さんの為の行いでもあります。亡くなった方をご供養しながら、思い出を宝物として大事に抱きながら、明日を生きる糧としていく。そういう儀式であります。お寺に来てご本尊様にお参りをする。お焼香をして、お経やお話を聞いて「明日からも頑張ろう」と思っただけなら「こんなうれしい事はございません。どうかまずは健康第一、また皆さんのお元氣なお姿をお見せいただきたく思います。私もこれまで以上に体調に気を付けつつ一杯頑張つてまいります。

がります。行きたいけれども来れない方、お辛い事と思います。今まで通りには出来なくとも、今出来る範囲の精一杯。これが大事ではないかと思えます。心を込めてお祀りすれば仏様も「ちゃんとやりなさい」と怒ったりしない筈です。ご法事は亡くなった方の為に行うのは勿論ですが、今生きている皆さんの為の行いでもあります。亡くなった方をご供養しながら、思い出を宝物として大事に抱きながら、明日を生きる糧としていく。そういう儀式であります。お寺に来てご本尊様にお参りをする。お焼香をして、お経やお話を聞いて「明日からも頑張ろう」と思っただけなら「こんなうれしい事はございません。どうかまずは健康第一、また皆さんのお元氣なお姿をお見せいただきたく思います。私もこれまで以上に体調に気を付けつつ一杯頑張つてまいります。

がります。行きたいけれども来れない方、お辛い事と思います。今まで通りには出来なくとも、今出来る範囲の精一杯。これが大事ではないかと思えます。心を込めてお祀りすれば仏様も「ちゃんとやりなさい」と怒ったりしない筈です。ご法事は亡くなった方の為に行うのは勿論ですが、今生きている皆さんの為の行いでもあります。亡くなった方をご供養しながら、思い出を宝物として大事に抱きながら、明日を生きる糧としていく。そういう儀式であります。お寺に来てご本尊様にお参りをする。お焼香をして、お経やお話を聞いて「明日からも頑張ろう」と思っただけなら「こんなうれしい事はございません。どうかまずは健康第一、また皆さんのお元氣なお姿をお見せいただきたく思います。私もこれまで以上に体調に気を付けつつ一杯頑張つてまいります。

本堂に

冷房が新設!!

去年の夏は、本堂に暑かった・・・今年もまた、猛暑らしいぞ・・・という話を聞き及び、ついに決心いたしました。本堂に冷房入れました!!

これで真夏の法事も安心快適!



法事やお葬式は

どうしたらいいの？

コロナを防ぐために様々な取り組みをなさっておられることと思います。その中でご相談いただくのは、やはり、法事(年忌法要)やお葬式はどのようにすればいいの？というご相談です。

今回の新型コロナウイルス感染症は、重篤な肺炎を招くことがあり、特に既往症があると重症化しやすいそうです。今までの免疫は効かないそうですから「俺は風邪も引いたことないんだ、コロナなんて大丈夫」は全く通用しません。まずご自身で気をつけていただくこと、そして、互いに気を遣うこと。これに勝る方法はないのかもしれませんが、法事やお葬式など、仏事に関していえば、今しばらくは、お招きする人数を絞って、マスクや消毒などの対策をしておけば、十分に行うことが可能だと思っております。

お寺の玄関には消毒用アルコール、忘れた時用にマスクも準備しています。控

え室や本堂は常に換気を行い、席もいつもより、離して設置してあります。葬儀会場宝泉寺別院にも同じく消毒液とマスク、そして施行する業者さんには、席の間隔と、待合などの場所でご密にならないように、とお願ひしています。いまのところ、感染者や濃厚接触者の報告はありませんので、ひとまずご安心を。

志村けんさんや、岡江久美子さんがコロナでお亡くなり成ったのはご存じのことと思います。新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになると、病院内での処置、納棺、荼毘まで、一切遺族といえど関わることが出来ません。それくらい感染力が強いからです。志村さんや岡江さんの時も、病院から電話でお知らせが来た後、再会はお骨になってからでないと出来なかつたそうです。本当にさみしく、ご遺族にはお辛かつたことだと思ひます。

お葬式をしてあげることが出来る、というのは、とても有り難いことなんだな、と改めて思ひました。小規模でも結構、地味でも結構。御生涯の終わりに際して、きちんと襟を正してお別れすることの大事さを、強く感じていきます。

て 天上天下唯我独尊

(てんじょうてんげゆいがどくそん)

あいうえお用語辞典

お釈迦様が誕生するやいなや七歩歩き、右手を天に、左手を地に向けて唱えたと言われる生物の尊厳を言い表した言葉。宇宙の中に自分はたった一人の尊い存在「独尊」であり、他人や他の生物もまた「独尊」である

盂蘭盆会総供養の

お知らせ

まもなく盂蘭盆会、お盆の季節が参ります。ご自宅のお飾りは、写真をご参考にしてみても如何でしょうか。十全万全でなくとも、心のこもったお飾りが、よいものです。

さて、毎年恒例の盂蘭盆会総供養ですが、彼岸会同様、一般参列は行わない形で、厳修したいと思ひます。特に新盆にあたられるご家族の方は、せつかくのお盆に参拝できないことを申し訳なく思ひます。住職以下、お手伝い下さるみんな、きちんとおつとめいたします。総供養お申し込みは事前にお送りした申込はがき、または直接お寺にご連絡下さい。お電話でも、メールでも結構です。

お布施はお気持ちで、お塔婆は三千元です。お墓参りの時、または書留などにてお納め下さい。

総供養法要の様子をインターネットで配信!

また、盂蘭盆会法要の様子をご覧頂くために、宝泉寺では映像配信を行うことにしました。

パソコンやスマートフォン、タブレットなどからYouTubeでご覧頂くことが出来ます。YouTubeでのお寺のチャンネルをご覧下さい。チャンネル登録もよろしくお願ひします。今回は、総供養の様子をライブ配信(生中継)いたします。七月十六日午後二時より開始いたします。左記、QRコードでも検索できます。

映像配信をご覧頂く方法

1. パソコンのインターネットから「YouTube」「八王子市臨済宗南禅寺派宝泉寺」を検索。お寺の本堂の写真をクリックすると、宝泉寺のチャンネルを見ることが出来ます。
2. スマートフォン、タブレットの「YouTubeアプリ」を起動。「八王子市臨済宗南禅寺派宝泉寺」を検索して、チャンネルをご覧下さい。
3. 下記QRコードからYouTube宝泉寺チャンネルをご覧下さい。



映像配信はあくまで、「法要の様子を見ていただくための」もので、これによってお盆のお参りをしたことはありません。また、「投げ銭システム」を使ってお布施も考えておりません。映像配信はここまで行っても一方的なもの。そのとき、その場に生身で立って、ご先祖様と向き合つてこそ、お参りです。体の不調などで、お参りが出来ない方には、代わつてご家族やご友人がお参りしてあげて下さい。そして、その様子をお話ししてあげるといいですね。